

大阪市会議員定数削減

81議席から70議席へ 天王寺区に住む私たちへの影響は？

5月上旬に大阪維新の会より、大阪市会議員の定数削減案が発表されました。内容は現状の81議席から70議席へ、11議席減となります。4月に行われた統一地方選挙では83議席から81議席へと2減（港区、西成区）となり、今回も引き続き定数削減となります。

実は

天王寺区が議員当たりの人口が最も多い地区です

議員一人
当たりの人口

最大：天王寺区、定数2、人口当たり41,047人
最小：東成区、定数3、人口当たり28,302人 差分12,745人

削減される区

いずれも定数が3から6の選挙区で平野区、城東区、東淀川区、住吉区、北区、生野区、住之江区、東住吉区、西淀川区、東成区、旭区です

削減の目的

- ・人口減に合わせた**1票の格差の是正**
- ・議員削減による**歳出の削減**

あらためて考える 議会の役割

削減の賛否は一旦横に置き、議会・議員の役割を改めて整理していきたいと思います。

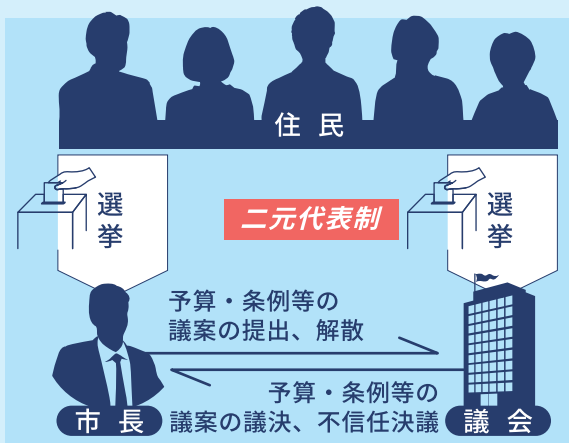
地方自治体は憲法にて**二元代表制で運営をすることが規定**されています。日々目にする政治のイメージは国会であり、議員内閣制なので地方自治体も国会と同じような運用かと思われている方もいるかもしれませんが、**制度が異なります**。

二元代表制とは？

地方自治体では、首長と議会議員をともに住民が直接選挙で選ぶ、という制度をとっています。これを二元代表制と言います。これに対して国では、選挙された議員で組織された国会が指名する内閣総理大臣が内閣を組織し、国会に対して責任を負う、という議院内閣制です。
(中略) 二元代表制の特徴は、**首長、議会がともに住民を代表する**ところにあります。ともに住民を代表する

首長と議会が相互の抑制と均衡によってある種の緊張関係を保ちながら、**議会が首長と対等の機関**として、その地方自治体の運営の基本的な方針を決定(議決)し、その執行を監視し、また積極的な政策提案を通して政策形成の舞台となることこそ、**二元代表制の本来の在り方**であるといえます。

(引用：三重県議会 HP より)



大阪市に当てはめて言うと、市長と市会議員は共に「直接選挙」にて選出されます。市長は行政のトップとして大阪市を運営し、議会はその運営が適切かチェックすることが役割です。また、議員

は地域（大阪市では区）ごとに選出をされているので、地域の行政の窓口として意見を収集し、市政に声を届け、地域にとって適切な行政が行われるように活動していくことも役割です。

あなたは、
どう思われますか!?

メリットとデメリットから見る、 大阪市会議員定数削減が私たちの暮らしに与える影響

メリット

- 1票の格差の是正が図れる
- 議員数削減により、調整が減り、議会のスピード感が高まる
- 議員支出が減る

デメリット

- 小選挙区化が進み、死票が増える
- 当選には多くの票数が必要なため、少数意見が市政に届きづらい(多様性がなくなる)
- 各地域に寄り添った行政執行が難しくなる、議会としてのチェック機能が下がる

大阪市会議員定数削減について

次号が出るタイミング(8月)では議会での審議も終わっていると思います。結果を踏まえ引き続き、取り上げたいと考えています。



私も
天王寺活性化プロジェクト
を支援しています。

おおにし ひろゆき
大西 宏幸

前衆議院議員 / 元防衛大臣政務官
自民党大阪一区支部長



大西宏幸公式サイト
onishihiroyuki.jp

発行者

大阪市議員 天王寺区選出

すどう
須藤しょうた

ホームページやSNSで最新情報発信中! /



公式ホームページ
sspo.jp

ツイッター
@sudo_shota



本紙に関するお問い合わせ先

須藤しょうた市政事務所

〒543-0026
大阪市天王寺区東上町9-15 アバンテ東上町2F
TEL 06-6710-4544

※デバイスによっては読み取れない場合があります

もっと楽しく、元気で、住みやすい街へ!

天王寺活性化プロジェクト 天王寺区民ニュース

MOTTO EGAO AFURERU TENNOJI-KU O MEZASHITE !!

happy

発行元

須藤しょうた市政事務所

〒543-0026

大阪市天王寺区東上町 9-15 アバンテ東上町 2F

TEL 06-6710-4544 FAX 06-6710-4528

Vol.1

2023年
6月1日発行

WE LOVE TENNOJI-KU

そうだったのか!?

ついに動き出した

日本初の「IR」

アイアール

IR?

CASINO?

2023年4月14日認可...日本初の「IR」

大阪府及び大阪市は、大阪IR株式会社と共同して令和4年4月27日に認定の申請を行った「大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画」について、国土交通大臣より認定を受けました。日本で初めてIR計画が認可されカジノも建設されます。

「IR(アイアール)」=統合型リゾートとは?

IRは、Integrated Resortの頭文字で、統合型リゾートと呼ばれています。IRは、国際会議場や展示場、ホテル、レストラン、ショッピングモール、エンターテインメント施設、カジノなどで構成される一群の施設で、民間事業者が一体的に設置し、運営するものです。(引用:大阪府HPより)

IR = カジノという印象が強いですが、IRはリゾートの総称を指し、カジノはその中に附帯する1施設という認識になります。また、運営主体は「民間事業者」となり、大阪府や大阪市は開業に向けた支援や、開業後も連携を図りIRの価値向上を目指していきます。ただし、あくまでも運営主体は「民間事業者」となり、大阪IR株式会社(中核株主:合同会社日本

MGMリゾート、オリックス株式会社/少数株主:関西地元企業を中心とする20社)が夢洲に設置し、運営します。

IRをつくる目的は何?

成長産業である観光業の基幹産業化を図り、地域経済の成長へ向けたエンジンとすること。大阪に新たな観光業の目玉を作り、ヒト・モノ・カネの流通を拡大させ、大阪、ひいては関西全体の経済成長の「起爆剤」とすること。

IRによる経済効果は?

※下図参照 大阪府HPより

IR立地による効果・地域への貢献

大阪・関西の観光・経済・社会・文化の持続的な発展に寄与します。

地域経済への効果(推計) ※近畿圏

経済波及効果(運営)※	約1兆1,400億円/年
雇用創出効果(運営)※	約9.3万人/年
地元調達額(運営)※	約2,600億円/年
雇用者数(IR施設)	約1.5万人/年

あなたは、どう思われますか!?

IRのメリット、デメリット

メリット

- 活用されていない夢洲、咲州地域の活用が進むこと
→ 空き地となっているベイエリアへの投資を行なうことで経済成長の起爆剤として有効的な土地活用が実現すること。
- 国内外問わず旅行者が増え、新しい雇用が生まれ、消費が拡大すること
- 経済波及効果1兆円越え、9万人の新規雇用が生まれることで消費が拡大し、IRを軸とした経済成長が見込めること
- インバウンドを効果的に取り込むことで外貨の流入を実現し、経済の好循環を生み出せる可能性が高いこと
- IR事業者、またはIR関連企業からの税収が増えること(1,000億円程度を試算)
→ 毎年1,000億円程度の税収増により、大阪府大阪市の財政健全化が図れること。また、IR関連の税収を用いて、特定の分野に特化した財政支出も可能であること。

デメリット

- ギャンブル依存症増加の懸念
→ 対策は講じられる予定だが、24時間、高いレートで賭け続けられる環境はギャンブル依存症患者を増やし、社会不安(希死増加、家庭崩壊、育児放棄等)が増えるのではないかと懸念。
- 反社会勢力の介入、治安悪化の懸念
→ マネーロンダリングや、掛け金の違法な貸付等による反社会勢力介入の可能性。また、多数の観光客によるマナー違反、騒音などの周辺環境の悪化、ギャンブルに負けた際の他害行為の懸念。
- 脆弱な土壌への公金支出と災害時の被害
→ ゴミの埋め立て地であった人工島夢洲、咲州は土壌が非常に脆弱である。また、土壌汚染の可能性もありIR施設建設のためには土壌対策に788億円におよぶ大阪市税の支出が必要となる。また、土壌対策を行なっても地震や津波等の災害に弱く、大災害発生時は甚大な被害が出る恐れがある。

大阪IRの事業計画

- 事業期間:35年間
- 設置予定地:大阪湾の人工島「夢洲(ゆめしま)」
- 敷地面積:約42.9万㎡
- 総延床面積:約77万㎡
- 初期投資額:約1兆800億円(税抜)
建設関連投資:約7,800億円
その他:約3,000億円
- 年間来訪者:約2,000万人
国内:約1,400万人
国外:約600万人
- 年間売上:約5,200億円
ノンゲーミング:約1,000億円
ゲーミング:約4,200億円



須藤しょうたの目線

カジノはおまけ。
大阪の魅力は
素晴らしい歴史文化。

IR事業による売上の80%は、カジノでの試算です。カジノができると、最初は注目が集まり、一定数の海外観光客を呼びますが、それが5年、10年と続くでしょうか。長期的にみると、以下3つの理由でカジノに頼った運営は厳しいのではないかと考えています。

①競争の存在

すでにアジアにはマカオ、香港、シンガポールなど、歴史とブランド力のあるカジノがある

②立地の悪さ

海外から日本に来るには長い時間がかかるため、VIP客が近くのカジノを超えて、わざわざ遠い日本のカジノに来るのか?

③カジノの差別化が難しい

カジノの内容(スロット、ブラックジャック、ポーカーなど)は国によって大きな差別化ができず、競争優位性につながる魅力づくりが難しい

一方、外国人の視点から考えるとどうでしょうか。私が外国人であれば、日本を訪れる一番の目的は、自国と全く異なる歴史文化を楽しみ、安全でおいしい食事を堪能すること。四天王寺、生魂、通天閣...たまにカジノ、という観光ルートを考えます。カジノは「旅行の楽しみの一部」ではないでしょうか。カジノを「おまけ」と考えて、大阪が誇る素晴らしい歴史文化、観光資源を大切に生かしていく。地域の地力を高めることが市民経済の活性化を着実に実現する。これらを議会に提言してまいります!

あなたも天王寺活性化プロジェクトに
参画しませんか? プロジェクトメンバー大募集中!

※デバイスによっては読み取れない場合があります

